

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	F 審議会・協議会等運営事業
事務事業名	区民評議会事業(美原区)				シート番号	217-003
担当部署名	美原区役所	局		部	企画総務	課
					評価責任者(課長名)	大野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	7	地域主権を確立し、真の自治都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	区域の特色を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市区民評議会条例、堺市区民評議会条例施行規則			
	4	関連計画	堺市SDGs未来都市計画			
5	事業実施の経緯	<p>これまで、地域まちづくり支援事業の実施や区民まちづくり会議の設置、また住民に身近な行政組織である区役所の機能を強化するなど、住民自治の促進に取り組んできた。</p> <p>これらの取組により、区民の視点からの課題の抽出や認識の共有ができ、区民自らが区と協働で事業を実施するなど、区民参加・区民協働という意識が高まってきたと考えている。</p> <p>今後は、『区民参加・区民協働』から、『区民の行政への参画』へとステージを拡大する必要があり、そのための新たな仕組みとして区民評議会を設置したものの。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	区民
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	各区の特性に応じた具体的な施策等についての調査審議や課題解決の優先順位について協議を行う区民評議会を各区に設置することで、区役所機能の強化と区民の行政への積極的な参画を図る。
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>区における施策、事業等に係る総合的な計画の策定及び改定に関する事項、区民の生活に密接な関係のある課題を解決するための施策、事業等の方向性及び方針に関する事項及び区域内における地域振興に係る補助金の交付の対象となる事業の選定に関する事項について、調査審議を行う区民評議会を運営する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他</p>
10	直接実施以外の主な支出先		

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費(a)	千円	1,628	808	4,613	2,519	4,791	633	6,364	
主な事業費内訳	委員報酬	千円	1,071	521	1,071	521	1,122	429	1,877
	筆耕翻訳費	千円	348	161	348	214	500	113	1,215
	通信運搬費	千円	39	25	39	900	35	25	223
	委託料	千円				687	3,000		2,789
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
財源内訳	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	1,628	808	4,613	2,519	4,791	633	6,364
12 人件費(b)	千円	9,700	7,240	7,005	7,590	7,520	6,540	6,545	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	11,328	8,048	11,618	10,109	12,311	7,173	12,909	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	区民評議会事業(美原区)	シート番号	217-003
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	新型コロナウイルス蔓延までは、専門部会の設置も含め予定どおり区民評議会を運営し開催するとともに答申に基づく事業を行っていた。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		評議会開催回数	回	目標値	5	5	4	4
				実績値	6	6	4	
				達成率	120%	120%	100%	
	評価			大変良い	大変良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		全体会及び部会の開催回数					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		答申を反映した施策・事業の実施数(制度のあり方とともに見直し予定)	事業	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	0	1	
				達成率	100%	0%	100%	
	評価			良い	悪い	良い		
	算出方法・設定根拠など		新規・拡充事業を算出					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	評議会開催回数	回	6	6	4
	②	上記①にかかる年間経費	千円	8,048	10,109	7,173
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,341,333	1,684,833	1,793,250
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	答申を反映した施策・事業の実施数(制度のあり方とともに見直し予定)	事業	1	0	1
	②	上記①にかかる年間経費	千円	8,048	10,109	7,173
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8,048,000		7,173,000
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	会議の開催回数については、必要に応じて開催したものであり予定どおりとなったもの。なお、事業の実施については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定の一部を実施できなかった。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	区民評議会事業(美原区)	シート番号	217-003
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 区の特性に応じた具体的な施策等について、幅広く区民の声を聴く機会が減少することから、そのような仕組みを廃止することは難しいが、令和元年度に成果や課題を整理する総括を行っており、その結果を十分に踏まえながら、今後のあり方について検討している。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 区の特性に応じた具体的な施策等について、幅広く区民の声を聴く機会が減少することから、そのような仕組みを休止することは難しいが、令和元年度に成果や課題を整理する総括を行っており、その結果を十分に踏まえながら、今後のあり方について検討している。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 会議回数の見直しなどを検討し、効率的な運営を図る。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 会議へのリモート参加や書面による会議の開催を実施できる環境ができています。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 (区域まちづくり事業) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 ①既に実施済。区民評議会の運営自体は、市の附属機関であるため、民間実施や区民協働にはなじまないが、区民評議会には区民が公募委員等として参画しているため、答申等には市民協働の視点を取り入れられている。また、特別委員や専門部会の活用等の可能性がある。 ②既に実施済み。一部リモートによる会議を開催し、効率化が図れた。 ③既に実施済。区民評議会の答申等を区域まちづくり事業として反映・実施している。 ④区の特性に応じた具体的な施策等についての調査審議などを行う附属機関の運営事業であり、国などとの役割分担・連携とはなじまない。 ⑤他都市のサービス水準(運営状況)と同程度である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 ■区民評議会については、昨年度に総括を行い、今後のあり方を検討していくこととなった。 ■幅広く区民の声を聴き、区民の行政への参加・参画を促す仕組みは不可欠であることから、これまでの成果と課題を十分に踏まえ、令和3年度に向け、ふさわしい制度のあり方を検討していく。		